



ワークセンターびび広報紙

第12号

2008.12.12

発行

南丹市社会福祉協議会 美山支所

ワークセンターびび

〒601-0751 南丹市美山町島住古瀬8番地

TEL.0771-75-1660 FAX.0771-75-0829

第9回 京都府障害者のつどい



SAORI fashion show



11月26日(水)にガレリアかめおかにて【第9回京都府障害者のつどい】が開催され、その中であじさい園や夕鶴の方と一緒にさをり織りのファッションショーを行いました。モデルに選ばれた6名が、びび利用者の一生懸命織ったさをり織りの衣装を身にまとい、約800人の前でウォーキング。その堂々とした身のこなしに驚いたのと同時に、とても感動しました。素敵なさをり織りを目一杯アピールできたのではないでしょうか。これからの売上アップを期待したいです。

平成20年度「障害者週間」啓発ポスター 及び体験作文コンクール 体験作文の部

佳作入賞

堀 祐輔さんの作文が京都府のコンクールで入賞しましたのでここに紹介します。

「やればできる」



生方に頼みなんとか一日3時間ぐらいは小学校と同じ教科書で勉強を習う事ができるようになりました。それでも、まだまだ追いつけなくて養護学校六年間で学習できたのは、小学校3、4年生ぐらいの内容でした。

した。一日授業を受けた後に部活はしんどかつたけれど何とか3年間続ける事ができました。

また、自分にも自信がついてあれもできる、これもできるんだというふうに色んな事をやりました。

ました。しかし、兄の方は普通に成長していくのですが、私は一年が経ち二年経つても兄のように歩けるようにならなかつたのです。心配した両親が、私を病院に連れて行きました。検査の結果、両下肢に障がいがある事が判明しそれから私はクラツチ（杖）を使わなければ歩けないという生活がスタートした。

私は、なぜ兄は普通に歩いて自分は歩けないのだろうと思いました。でも、この様な身体で生まれてきたからにはがんばらなければと思いました。毎日つらいリハビリをしました。両親、兄のおかげで皆と同じ幼稚園に通うことができました。卒園してからの事、兄は普通の小学校に入学したのですが、私は学校側が障がい者の受け入れが出来ないという事で、皆と同じ学校に入学したかつたけれど養護学校に通う事になつたのです。養護学校では、毎朝リハビリをしてから授業を受けました。しかし、私は普通小学校と同じ授業がしたかつたので先

そして、念願かない中学生生活がスタートした。しかし、大変な事がたくさんありました。一つは、なれない授業です。小学3年ぐらいまでの学習しかやつていらない私は中学レベルに追いつくのが大変でした。でも、双子の兄がいてくれたのでその兄に教えてもらう事ができなんとか同レベルまで追いつく事ができました。

もう一つは、教室の移動です。特にかいだんの移動です。みんなは、あまり手助けしてくれないので全てを自分でやらなければいけなかつたので苦労しました。

もう一つ、クラブ活動です。これが一番大変でした。しかし、あいつは何もできないと思われるのがイヤだったので皆を見返してやれという気持ちで卓球部に入部しま

そして、念願かない中学生生活がスタートした。しかし、大変な事がたくさんありました。一つは、なれない授業です。小学3年ぐらいまでの学習しかやつていらない私は中学レベルに追いつくのが大変でした。でも、双子の兄がいてくれたのでその兄に教えてもらう事ができなんとか同レベルまで追いつく事ができました。

者に対してもっと理解してほしいです。障がいがあるからあの人はできないんだと思うずに、どうすればあの人はできるようになるんだろうという気持ちを皆さん持つてほしいなと思います。また、どうすれば障がい者が生活しやすい環境がつくれるのかという事を。

幼稚園に通うことができました。卒園してからの事、兄は普通の小学校に入学したのですが、私は学校側が障がい者の受け入れが出来ないという事で、皆と同じ学校に入学したかつたけれど養護学校に通う事になつたのです。養護学校では、毎朝リハビリをしてから授業を受けました。しかし、私は普通小学校と同じ授業がしたかつたので先

もう一つは、教室の移動です。特にかいだんの移動です。みんなは、あまり手助けしてくれないので全てを自分でやらなければいけなかつたので苦労しました。

もう一つ、クラブ活動です。これが一番大変でした。しかし、あいつは何もできな
いと思われるのがイヤだつたので皆を見返してやれという気持ちで卓球部に入部しま

最後に、障がいがあつても皆と同じ事ができるという自信を私と同じ障がいを持つ人達にも持つて欲しいです。それが私の一番伝えたかった事です。この世に生まれた人間は皆同じ人間なので協力しあつてがんばりましょう。

さをり売り上げ
TOP 5

先日、育成苑まつりとふるさとまつりにて、自主製品の販売を行いました。
そのときの売上ランキングです！

- 1位 マグネット
- 2位 キーホルダー
- 3位 ティッシュケース
- 4位 ペットボトル入れ
- 5位 ポーチ

総売上は73,120円。1位は新商品のマグネットでした。さをりの布を使ったくるみボタンに磁石のついたこの商品は1個50円で販売しています。とても可愛いのでちょっとしたプレゼントに最適です。

日時 / 毎月第2水曜日
12:00~13:00

場所 / 町民センター ホール
参加費 / 250円

交流を目的とした、どなたでも参加できる昼食会です。毎月楽しい時間を過ごしています。お気軽にどうぞ！



ひよし水の杜フェスタ

10月26日(日)に日吉ダム多目的広場にて、ひよし水の杜フェスタが開催されました。ワークセンターびび日吉もテントでコーヒー屋さんの店を出しました。あいにくの雨で例年よりお客様が少なく残念でしたが、皆声を出して呼び込みに頑張ってくれました。お陰様で売り上げは、94,480円。お客様との会話も楽しかったらしく来年もお店に出たいとの感想でした。地域の人と出会えたい日となりました。



秋の企画事業　・・・　海釣りとバーベキュー

10月3日、秋の企画事業で舞鶴に海釣りに行きました。夏に企画で延期になっていた念願の釣りが出来てとっても嬉しそうでした。肝心の魚はあまり釣れなかったけど・・・。

お天気にも恵まれてお腹もふくれた1日でした。



ワークセンターびびを利用されている皆さんの作品を紹介します！

びびの窓



日吉分所 湯浅 學さん



美山本所 木戸 邦子さん



太鼓でサイコー！

やすらぎまつりで和太鼓披露



10月18日(土) 美山やすらぎホームでやすらぎふれあいまつりが開催され、ワークセンターびびも和太鼓演奏で出演しました。オープニングという大役にもかかわらず日頃の練習の成果が発揮できました。力強い演奏を披露でき、しかもアンコールの拍手まで頂き、とっても嬉しそうでした。この日はいつも暑い日でしたが皆の心に残るとても熱い1日となりました。

いよいよ寒くなつてきましたが、皆様にはお変わりないでしょうか。
12月6～7日ATACカンファレンスに参加してきました。このカンファレンスは、コミュニケーション支援を中心に関わる支援について広めていくために毎年開催されています。数十のセミナーが平行して開催され、参加者は自分で選択して参加します。

施設長雑感

竹内 晶

このごろ思うこと

私はやはり重度知的障害や自閉症者に対するコミュニケーションスキルを磨くため「コミュニケーションの意欲を引き出す技法」や「コミュニケーションシンボル導入の技法」「コミュニケーションエンジニアリング」などを中心に回りました。途中で息抜きに「社会学から見た障害・現代社会のフェアネス」も聞きました。少し面白かったのは、障害児に対する養育について、家族内でのジェンダー規範の問題だけでなく、家族によってケアされるべきだと言う社会的規範への疑問や、子供の成長にとって親との閉鎖的な相互作用も問題にしていました。育儿に対する親のかかわりも、時代の変化とともに共同体としての家族の役割も変わるし、社会の責任も代わるべきだと思いました。

コミュニケーション技術については目からうろこの連続です。逆に言えば、知らずにおこなう支援は何も解決できないし、障害を持つ人たちに不利益さえもたらすんだとつくづく思いました。福祉とは、援助技術の総体なんですね。もつともつと勉強しなければと思いました。

さて、今年もう終わりです。早い1年でした。昨シーザン初めて滑ったスキーですが、とても楽しかつたです。今年も期待をしていますが、忙しいのとお金がありません。わがびびのスタッフには、冬になると元気なやつがいます。うらやましい限りです。よいお年をお迎えください。